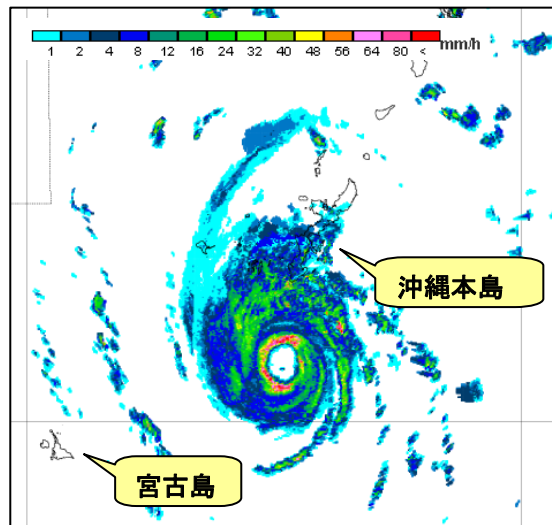


台風情報を有効に活用しましょう！

沖縄地方の自然災害で最も大きいものは、台風による災害です。その災害には、風害、水害、土砂災害、高潮害、波浪害などがあります。台風は、沖縄地方に近づく頃、勢力が強くなることが多く、また、沖縄付近は台風が進行方向を変える位置にあることから、移動する速さが遅くなり、長い期間台風の影響を受けます。

気象台では、台風が沖縄地方に接近すると予想した場合に、「**台風に関する気象情報**」(下図：発表例)を発表し、その中で防災上の警戒・注意事項を呼びかけています。

災害の防止・軽減には普段からの災害への備えが大切です。テレビやラジオで気象台が発表する警報・注意報・気象情報を利用すると共に、「**沖縄気象台のホームページ**」も有効に活用しましょう。



平成19年台風第11号のレーダー降水強度画像
(9月14日18時40分)

沖縄気象台ホームページ
<http://www.okinawa-jma.go.jp/>

発表例

平成19年台風第11号に関する沖縄本島地方気象情報 第18号

平成19年09月14日 19時08分 沖縄気象台

本島南部の一部が暴風域に入りました。那覇市樋川では18時42分に東北東の風、最大瞬間風速30.0メートルを観測しました。本島地方では、暴風や高波に厳重に警戒して下さい。

台風第11号(ナーリー)
2007年9月14日18時

規模 非常に強い
存在地域 那覇市の南約90km
中心位置 北緯 25度25分 東経127度40分
進行方向、速さ 北西 20km/h
中心気圧 955hPa
中心付近の最大風速 45m/s
最大瞬間風速 60m/s
25m/s以上の暴風半径 全域 90km
15m/s以上の強風半径 全域 190km

--- 12時間後(9月15日06時)の予想 ---
存在地域 久米島の北約60km
中心位置 北緯 26度50分 東経126度55分
中心気圧 950hPa
中心付近の最大風速 45m/s
最大瞬間風速 65m/s
予報円半径 110km
暴風警戒域 全域 200km

--- 24時間後(9月15日18時)の予想 ---
存在地域 久米島の北約240km
中心位置 北緯 28度25分 東経126度30分
中心気圧 950hPa
中心付近の最大風速 45m/s
最大瞬間風速 65m/s
予報円半径 170km
暴風警戒域 全域 260km

なお、台風の中心が予報円に入る確率は70%です。

平成19年台風第11号に関する沖縄本島地方気象情報 (9月14日19時08分発表)